

バス分科会からの報告資料

国土交通省 都市局

令和3年11月29日

これまでの検討経緯(まとめ)とR3年度の検討の方向性

- 全国各地で実施されている基幹的なバス交通における自動運転技術の実証実験結果等から、社会実装に向けた課題の整理を行う。
- 自動運転技術の社会実装を実現するための与条件の整理を行い早期実現するフィールドを検討するとともに、実証実験の課題等も踏まえて、自動運転技術の導入を想定した都市施設のあり方の整理を行う。



基幹的なバス分科会 中間とりまとめに向けた項目整理

1. はじめに

- ・自動運転技術の動向と公共交通分野における取組状況

2. 基幹的なバス交通への自動運転技術の導入の目的

- ・基幹的なバス交通の定義
- ・基幹的なバス交通が果たすまちづくりの役割および現状の課題
- ・自動運転技術を導入することによる効果
 - －現状の課題解決の期待
 - －波及効果の期待
 - －未来のイノベーションの可能性

地方公共団体、バス事業者等へ**自動運転の実証実験に取り組む目的**をヒアリング

3. 基幹的なバス交通における自動運転技術活用の動向

- ・自動運転に当たり必要となる技術の整理
- ・実証実験から得られた成果と課題の整理
- ・上記の課題を踏まえた自動運転の導入に際しての都市施設のあり方として考慮すべき事項の整理

地方公共団体、バス事業者等へ**実証実験の取組状況**をヒアリング

4. 基幹的なバス交通における自動運転技術の社会実装時のあり方

- ・自動運転技術の社会実装に向けた与条件の整理
- ・基幹的なバス交通において社会実装が早期に見込まれるフィールドの検討
- ・検討したフィールドにおける自動運転技術活用による波及効果の見込み
- ・現状の課題解消や自動運転技術の波及効果を想定した都市施設のあり方の検討

自動車メーカー等へ**自動運転車の社会実装への展望**についてヒアリング

基幹的なバス分科会 検討スケジュール

検討スケジュールは以下のとおり想定している。

